

SUSEとVeeam Kastenによる クラウドネイティブの回復力

VMおよびKubernetesアプリ向けの統合されたデータ保護

中断のない最新化

組織は信頼性の高い仮想マシン（VM）とコンテナベースのアプリケーションの台頭とのバランスを取るという課題に直面しています。これがリソースの負担、データのサイロ化、最新化のハードルにつながっています。同時に、[エンタープライズの90%以上](#)が、より高速な導入、モジュール式アーキテクチャ、イノベーションの速度を求めて、コンテナ化されたワークロードを実行または評価しています。

SUSE Virtualizationは、SUSE Rancher Primeエコシステムの一部として、VMとKubernetesワークロードを統合的に1つのプラットフォーム上で運用できるパワフルなソリューションを提供します。Veeam Kastenは、エンタープライズクラスのプロtection、アプリケーションモビリティ、そしてランサムウェア回復力を両環境にわたって拡張します。

SUSEとVeeamが協力することで、最新のアプリケーションを保護し、自分たちのペースで最新化を進め、将来に向けて自信を持って準備できる統合ソリューションを組織に提供します。

ソリューションのメリット

- **統合データ保護**：VMおよびコンテナアプリケーションの管理と保護を一貫して行う単一のアプローチ。
- **エンタープライズグレードのセキュリティ**：高度な脅威検出、イミュータブルバックアップ、物理的に隔離された復元ポイント。
- **クラウド間のモビリティ**：ワークロードをオンプレミス、エッジ、クラウド環境間でシームレスに移動。
- **運用の簡素化**：ポリシーベースの自動化、GitOpsワークフロー、SUSEのネイティブ統合。

ビジネスの課題

- 二重のIT基盤：VMとコンテナプラットフォームを個別に管理することで、コストと複雑性が増しています。
- データ保護のサイロ化：従来のVMバックアップツールはKubernetesアプリにほとんど対応していません。
- サイバー脅威とコンプライアンス：ランサムウェアと規制により、より強力な監査可能な保護が求められています。
- 運用リスク：クラウドネイティブプラットフォームへの移行は、重要な業務の妨げとなってはなりません。

共同ソリューション

- **SUSE Virtualization**は、VMおよびコンテナワークロードをSUSE Rancherで管理される単一の運用フレームワークに統合します。
- **Veeam Kasten**は、Kubernetesネイティブのデータ保護をエンタープライズ回復力、イミュータビリティ、ワークロードのモビリティを備えて実現します。
- **統合**によってVMとKubernetesアプリの両方に対してポリシーベースの保護を確実にし、本番環境での運用の完全な制御を自動化します。

SUSEのエコシステム統合とVeeam KastenのHelmベースのインストールにより導入を合理化。ITチームは数分で運用開始できます。

重要な成果

- **コスト効率**：冗長さや従来のツールを削減し、運用を合理化してITのオーバーヘッドを低減します。
 - **ビジネス継続性**：信頼性の高いディザスタリカバリ（DR）により、ダウンタイムを最小限に抑え、目標復旧時点（RPO）および目標復旧時間（RTO）を向上させ、環境全体でビジネス継続性を確保します。
 - **最新化の柔軟性**：従来のワークロードをサポートしながら、安心してクラウドネイティブの取り組みを推進できます。
- コンプライアンスの確保**：可観測性、ログ記録、安全で監査に対応したバックアップによって、規制管理を確実にします。

SUSEとVeeamを活用することで、組織は信頼性を維持しながら、より速い復元時間、ストレージコストの削減、アプリケーションの最新化促進を実現しています。

今すぐ開始する

Veeam KastenとSUSEが貴社のワークロードの統合、保護、最新化をどのように支援できるかをご確認ください。

- [共同ソリューションの詳細はこちら](#)
- [Kasten無償評価版](#)
- [Kastenの専門家に問い合わせる](#)

→ **詳細はこちら**：
veeam.com/jp

